

伝統構法建築物改修の総合実務講習 受講者募集

「本講習のコンセプト」本当の意味で伝統工法の改修が出来れば新築も既存改修も全てできる
実際の建築物（木曾平沢伝健地区内古民家）をモデルに講義を行います

主催：公益社団法人長野県建築士会
担当委員会等 建築活動委員会・まちづくり委員会・(青年・女性委員会)
募集対象：伝統的構建築物の改修に関心のある方であればどなたでも参加いただけます。
募集人員：50名
一部「公開講座」として指定する講座は募集した受講生以外の受講を認めます。
受講料：40,000円 ただし建築士会会員は30,000円
「公開講座」として指定した講座の一般受講者の受講料はその都度決定します。
修了証：全講座に出席された受講生に交付するとともに、以下の称号を付与します。
称号：現ヘリテージマネージャーの方は「ヘリテージマネージャー・マイスター」の称号を、その他の方は「サブ・ヘリテージマネージャー」の称号を付与します。
講座はすべてCPD単位を付与します。
テキスト：受講料に含まれます。(講師により有償頒布となる場合があることをご了承ください)
「公開講座」の一般参加者は設定する受講料に含みます。
会場：講座ごとに会場設定しますが、原則的に中信地区とし以下を会場とします。
松本市勤労者福祉センター
塩尻市民交流センター「えんぱーく」
申し込み：10月14日(金)までに別紙の申込書に受講料を添えて建築士会各事務所又は本会事務局まで申し込んでください。
公開講座に申し込む場合は、その都度申し込み案内を行います。

講習日程・講義概要(予定)

記載の実施時期、講義内容は現時点での内容であり、変更する場合があります。
開催日は基本的に毎月中旬の土曜日又は日曜日を予定しています。

実施時期	講義内容(概要)	講師
R4 11月	○開講式 オンライン方式による講座全体の説明	
R4 12月 (4単位)	○伝統的建築物に住む、伝統建築物の基本知識 世界そして日本そして長野県の伝統的住宅のはなしや長野県の伝統建築物の状況、住宅として住むということ、長野県の景観としての伝統的建築物等、そして長野県の伝統工法住宅のこれからの世界等伝統的建築物の基礎的な講義	信州大学工学部建築学科 梅干野 成央 准教授
R5 1月 (4単位)	○伝統的建築物の構造計画Ⅰ 文化財保護なのか住宅の改修なのか 住宅改修の計算を簡単にするためのゾーニング 許容応力度計算と限界耐力計算の違いと許容応力度計算を実践する講義	有限会社山辺構造設計事務所 代表取締役 山辺 豊彦氏
R5 2月 (4単位)	○伝統的建築物の構造計画Ⅱ 限界耐力計算の基礎・考え方 限界耐力計算の建築部材の拾い方 必要図面の書き方 計算に入るための重要な部分 等実践講義	有限会社山辺構造設計事務所 代表取締役 山辺 豊彦氏
R5 3月 (4単位)	○伝統的建築物の構造Ⅲ 必要な計算の種類(変形、浮き上がり、偏心等) 限界耐力計算を実践する講義	有限会社山辺構造設計事務所 代表取締役 山辺 豊彦氏
R5 4月 (4単位)	○伝統的建築物の断熱設計Ⅰ(基礎編) ゼロカーボン世界、日本そして長野県の状況 ストック改修の必要性や長野県モデルのはなし 伝統工法の省エネシステムをどうするか?そして長野県における改修の問題等を講義	信州大学建築学科 高村 秀紀 教授
R5 5月(4単位)	○伝統的建築物の断熱設計Ⅱ(実践編) 伝統工法の断熱計算の考え方 伝統工法の断熱計算のやり方 の計画論を講義	岐阜県立森林文化アカデミー 辻 充孝 准教授
R5 6月 (4単位)	○伝統的建築物の断熱設計Ⅲ(実践編) 伝統工法の断熱計算の考え方 伝統工法の断熱計算のやり方 の実践について講義	岐阜県立森林文化アカデミー 辻 充孝 准教授
R5 7月 (4単位)	○伝統的建築物に対応した新しい木造の防火 木材を使っても大火を出さない、燃えても燃え広がらないそして命を奪われない伝統工法の防火の考え方や伝建地区での防火の考え方を講義	桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇氏

R5 8月 (1単位+ 1単位+2 単位)	○木材に関する講座 (長野県木の家マイスターとのタイアップ) 木材の地産地消のはなし 木質バイオマス、薪ストーブの性能	長野県関係課職員 関係市町村等の自治体職員 (塩尻市、長野市など)
	○伝統的建築物改修に対する助成制度等 伝統的建造物群保存地区、登録文化財の補助金・耐震・断熱補助金との分け方 空き家対策や住み方・移住・2地域居住等の施策 災害や被災しても復興しやすい住宅、保険保障等について講義	
	○伝統的建築物の法規制 建築基準法の既存不適格建築物の対応等の対処方法などを講義	
R5 9月 (4単位)	○伝統的建築物の住まい方 地域性の違い、住まうための留意点や近隣との関係 ストック住宅の見分け方を物件の良し悪し、改修金額差を講義、また改修の資金に関しても講義 ○改修設計の手順Ⅰ(基礎編) 実際のモデルによる改修計画の基礎を実践的に講義	長野県建築士会 建築活動委員会、及びヘリテージマネージャー協議会会員
R5 10月 (4単位)	○改修設計の手順Ⅱ 実際のモデルによる改修設計をそれまでに受けた講義に基づき実際に実践	長野県建築士会 建築活動委員会、及びヘリテージマネージャー協議会会員
R5 11月 (4単位)	○事例発表・閉講式 受講者による設計成果の発表 発表後審査、講師による講評	信州大学工学部建築学科 土本俊和 教授 長野県建築士会 会長 荻原 白ほか
その他	○オンライン配信 木曾サワラを焼いて焼サワラの壁材を作ってみよう(松筑支部合同)配信 どんな状態で伝建地区の特定の建物が空き家になっているか 伝統的建造物群保存地区の申請状況 配信 伝統的建造物群保存地区の施工状況 配信 ○現地体験 現地作業(モデル建築物の施工を体験)等 [受講者特典] 令和3年度実施した岐阜県立森林文化アカデミーの辻 充孝准教授による伝統的構法建築物の断熱改修設計・施工の研修会のアーカイブ動画等視聴を資料配布と無料配信します。	適宜可能な内容をZoom等のオンラインを活用して配信するとともに、現地での体験を企画します。

単位：1単位=1時間30分を基本とします。

講習会終了後に講義資料や成果などを取りまとめた冊子を作成し、販売を予定しています。

そのため、各講義は取りまとめを前提として企画、運営を行います。

[講師紹介] 50音順に記載

>高村 秀紀氏

信州大学工学部建築学科 教授



株式会社カネカ、信州大学工学部助手、助教、准教授を経て、2018年より現職

住宅建設時に発生する廃棄物の削減対策と建築物の省エネルギー対策が専門分野
(信州大学HPから)

>辻 充孝氏

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授



大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業
専門分野：木造建築設計・温熱環境・省エネルギー

研究テーマ：住まいにおける消費エネルギーの実態と予測
住宅の熱環境評価

経歴：一級建築士 CASBEE 評価員[建築、戸建]
日本建築士会連合会環境部会委員など

>土本 俊和氏

信州大学工学部建築学科 教授



東京大学卒業、同大学院修士課程修了、株式会社国建首里城復元グループ、東京工芸大学助手、信州大学助手、助教授を経て2001年より現職

専門分野：日本の中近世都市の都市形態史的研究、日本の伝統的建造物の保存・再生・活用、都市変容における古いものと新しいものとの統合を目的とした建築設計および都市設計(信州大学HPほかから)

>梅干野 成央氏

信州大学工学部建築学科 准教授



信州大学工学部卒業
信州大学大学院工学系研究科修了
信州大学大学院総合工学系研究科修了 博士(工学)
2004年 信州大学助手、2007年助教授を経て、2014年より准教授

専門分野 建物の原形および変容の把握、伝統的建造物の保存と再生(信州大学HPほかから)

➤安井 昇氏

桜設計集団
一級建築士事務所代表



1993 東京理科大学院修士課程修了、積水ハウスを経て、1999 桜設計集団設立
木造耐火に関する技術開発・研究開発に携わる。実家が、“京町家”で“建具屋”だったため、何かにつけて弱いと思われている木材の短所を知り、長所を伸ばす使い方を模索していきたいと日々思っています。
(NPO 法人ティンパライズ HP から引用)

➤山辺 豊彦氏

有限会社山辺構造設計事務所
代表取締役



法政大学工学部
建設工学科建築専攻卒
青木繁研究室を経て1978年
山辺構造設計事務所 設立
在来軸組構法住宅の設計手法について独自の実大実験などをもとに研究、その方法論を分かりやすく解説する技術には定評がある。

※上記講師以外にも信州大学工学部建築学科 松田昌洋助教等も予定しています。

伝統構法建築物改修の総合実務講習申込書

申込締め切り 令和4年10月14日(金)

公益社団法人長野県建築士会 様

申し込み年月日	令和 年 月 日
ふり氏 がな名	
住 所	〒
勤 務 先	(勤務先名称)
連絡電話番号	(連絡が可能な番号) (自宅・勤務先・携帯 いずれかに○)
Email アドレス	(連絡可能なアドレス)
会員・非会員	(建築士会員区分 いずれかに○) 会 員 (支部所属) ・ 非会員 ※長野県以外の建築士会員の場合単会名を記載 (建築士会)
受 講 料	(いずれかに○) 30,000 円 ・ 40,000 円
C P D 番 号	

申 込 先 公益社団法人長野県建築士会 各事務所
又は本会事務局

申込方法 申込書に必要事項を記載いただき、受講料を添えて上記申込先へ持参ください。
遠方の方で郵送(受講料振込)希望される場合は、本会事務局へ問い合わせください。
電話:本会事務局 026-235-0561 Email:n-shikai@avis.ne.jp